

第2回 横浜市中区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和7年3月26日（水） 午前9時00分から午後2時00分まで
開 催 場 所	中区役所 別館3階 栄養相談室
出 席 者	【選定委員会委員】 委員長 市川 享子（東海大学健康学部健康マネジメント学科 准教授） 委員 齊藤 章（中区老人クラブ連合会 会長） 長尾 孝治（中区障害者団体連絡会 事務局長） 長澤 まさ子（中区ボランティア連絡会） 二戸 明美（中区地域子育て支援拠点のんびりんこ 施設長） 堀内 和子（中区民生委員児童委員協議会 副会長） 蒔田 高安（かいごのWa！なか代表） 松浦 美穂（税理士（東京地方税理士会）） 【事務局】 中区福祉保健センター担当部長 新井 隆哲 中区福祉保健課長 倉田 真希 中区高齢・障害支援課長 岩崎 雄介 中区福祉保健課事業企画担当係長 吉良 亜希子
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（応募団体の面接審査、指定管理者の候補者（以下、「指定候補者」という。）及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者（以下「次点候補者」という。）の選定に関する審議について非公開。なお応募団体の面接及び質疑応答は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開）（傍聴者0人）
議 題	1 事前確認事項 2 応募団体の面接審査 （1）応募団体の面接審査 （2）本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明 3 指定候補者及び次点候補者の選定、講評
決 定 事 項	指定管理者の候補者及び次点候補者として、次のとおり、横浜市中区長に報告することとする。 1 横浜市新山下地域ケアプラザの指定候補者：社会福祉法人横浜社会福祉協会 2 横浜市不老町地域ケアプラザの指定候補者：社会福祉法人横浜社会福祉協会 3 横浜市本牧和田地域ケアプラザの指定候補者：社会福祉法人横浜社会福祉協会 4 横浜市麦田地域ケアプラザの指定候補者：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 5 横浜市本牧原地域ケアプラザの指定候補者：社会福祉法人横浜市福祉サービス協会

	6 横浜市震災地域ケアプラザの指定候補者：社会福祉法人横浜市社会事業協会
議 事	1 事前確認事項 事務局から、公募の結果4団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の5点について確認した。 ○委員会の公開・非公開 応募団体審査、指定候補者及び次点候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。(第1回委員会で審議済み) ※なお、応募団体の面接（プレゼンテーション及びヒアリング）は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開。 ○面接審査の進め方及び質問項目の確認 (事務局) ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・1施設に対して1団体のみの応募となっている施設については、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 (委員) ・ヒアリング時の質問項目を確認した。 ○応募団体の資格要件等について (事務局) ・資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。 ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 ○松浦委員より財務分析結果報告書について説明。 ○麦田地域ケアプラザの審査 堀内委員が応募団体と利害関係にあるため、麦田地域ケアプラザの指定候補者選定に係る審査には参加せず、退出していただくことを説明 2 応募団体の面接審査 (1) 面接審査 ア 横浜市新山下地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明

	(イ) 主な質疑応答 (委員) 高齢者の健康づくりの観点で、中スポーツセンターと連携した事業など考えているものはあるか。 (団体) 相互に事業に参加し、交流を深めたい。スポーツ指導など、専門的な知見をお借りするような交流を考えている。また、近くにサッカークラブがあり、指導者に来ていただいて、健康づくりを行っている。 (委員) 外国にルーツのある方への情報の発信や活動などで考えていることはあるか。外国人も高齢化し、介護保険のニーズが生じると思われる。 (団体) 介護保険のニーズについては、地域包括支援センターでも相談があり、地域ケアプラザの事業や、デイサービスの利用につないでいる。言葉の壁など様々な課題があるが、国際交流ラウンジの協力を得て、外国語版の広報紙を作成している。また、子育てサロンに参加した外国籍の方に英語教室を開催していただくなどの取組を行っている。 (委員) つながりにくい方とのつながり方で、工夫していることはあるか。 (団体) 職員が地域に出ても直接寄せられる相談はあまりない。実際は民生委員・児童委員の方々から多くの情報をもらっている。その後の対応は関係機関と連携して取り組んでいる。また高齢者だけでなく、子ども、障害、金銭的な問題等、様々な問題を抱えている方がいるため、それぞれの担当部署を設けて連携して取り組んでいく。 (委員) 人件費の上昇が人材確保にどのような影響があるか。 (団体) 人材確保についてハローワークや、求人雑誌、広告等を出しても、応募がないため、有料の紹介等を使わざるを得ない状況。その場合、紹介料として年収の30%を支払う必要があるため、施設としては負担が大きいが、必要な専門職の確保のため必要。法人として、長く勤めていただけるように検討を重ねている。 (委員) 貸館の利用状況を明らかにし、予約が取りやすい体制づくりを行うとのことだが、ホームページには貸館の利用状況が掲載されていない。初めて利用する方に対しての表示や工夫はどう考えているか。 (団体) 御連絡いただいた方に利用状況がすぐに回答できるよう内部資料を準備している。外部への情報の発信については、ホームページの更新頻度や職員体制等を検討したい。 イ 横浜市不老町地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) 担当圏域が広いが、工夫していること、苦勞していることはあるか。
--	--

	(団体) 地域住民には生活圏域があつて、距離は遠くないのに地域ケアプラザに来ない方が多くいると感じている。積極的に出張講座ができることをアナウンスして、地域のニーズに対応している。 (委員) 寿地区の高齢化について具体的な取組や苦勞していることはあるか。 (団体) 地域ケアプラザで受ける相談の約3割が寿地区の相談。最近では、交流センターはじめ支援に関わる事業者が多くあり、特に介護の事業者や障害の事業者が多く、各事業所と連携して取り組んでいる。 (委員) 障害者への支援体制やネットワーク体制について、考えていることはあるか。 (団体) 障害の事業者だけでなく就労事業所も多くある。それらの事業所が地域にあるということを知ってもらうため、説明会や見学会を実施している。障害のある方の地域とのつながりを作り、今後どう展開していくかを次期指定期間に向けて考えている。 (委員) 例えば犯罪などの福祉に関する業務の範囲を超えた課題について、どのように対応しているか。 (団体) 例えば、心の病を抱えていて危険性のある方の対応をする場合、職員を2名体制で派遣している。また、地域ケアプラザだけで抱えず区役所や生活支援センター、警察など、関係機関と協力して取り組んでいる。 (委員) 今期は新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったと思われるが、担当圏域でどんな変化があったのか。また、苦勞したことはあるか。 (団体) コロナ禍は貸館も停止し、相談も少なかったが、収束後は相談件数が増えた。不老町地域ケアプラザのエリアは高齢者人口が多く、人員体制も地域包括支援センターは基本的に3名体制のところ、6名体制を取っているが、更に居宅介護やケアマネジャーと連携してなんとか乗り越えてきた。今後も高齢者人口は増えると思われるので、引き続き最善を尽くして支援したい。 ウ 横浜市本牧和田地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) 御馬流しや八聖殿郷土資料館等があるが、それらと連携して、支援につなげられることを考えているか (団体) 八聖殿郷土資料館には、サロンで本牧の歴史について講座を依頼し、男性に地域ケアプラザに足を運んでいただく機会を作った。まずは地域ケアプラザに足を運んでもらい、地域ケアプラザの事業を知り、関
--	---

	心をもってもらおうといった流れができている。お祭りなどの行事には足を運び、地域の活動を SNS 等で発信している。 (委員) 認知症サポーターが小学校に出向いて説明する取組があったが、この取組は続けていくのか。 (団体) 今後も続けていきたいと考えている。地域ケアプラザだけでなく、地域とともに働きかけていきたい。 (委員) 前期から指定管理者が変わったことで、この 5 年間の取組や今後の展望を聞きたい。 (団体) コロナ禍で地区も地域ケアプラザも活動が停止した状態でのスタートだった。まずは地域の方々との連携を大事にして、地域ケアプラザの活動に力を入れてきた。地域に温かく迎え入れてもらえたので、今後は地域にどうお返しできるかを考えつつ、次期指定管理に臨みたい。 (委員) 小・中学校が多くあるので、子どもの活動も広げてもらいたい。 (団体) 子育て支援ネットワークにはコーディネーターも関わっており、地域ケアプラザ祭りでブースを出していただき、親子で地域ケアプラザに来る方が多かった。親世代が認知症などの福祉分野に関心を持ってもらう機会になっているため、情報の発信について工夫したいと考えている。 (委員) 平地と丘陵地がある地域で、買い物支援等の課題があるかと思うが、どんなことを工夫しているか。また、商店街や企業との連携の工夫はあるか。 (団体) 地域によって抱える課題は様々。職員が地域に訪問した際に聞き取った話をどれだけ大事にできるか、どう支援につなげるのか、様々な機関と話し合いを進めている。その積み重ねが大切。例として、野菜の移動販売や、タクシー会社と連携した移動手段の確保に取り組んだ。 エ 横浜市麦田地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) 地域ケアプラザは高齢者を対象とした施設というイメージがあるが、例えば子育て等の取組の周知や広報活動は行っているか。 (団体) この地域は掲示板や回覧板を見て事業に参加する方が多いため、民生委員・児童委員や連合町内会にチラシの配架を依頼して広く情報を伝えている。また、ホームページでも事業の案内をしており、若い世
--	--

	代にも情報が届くことを意識している。子育て支援、障害者支援に関しても同様に広報していきたい。SNS の活用も検討しているが、情報を届ける相手がどのツールであれば届きやすいのか、検討して取り組んでいる。 (委員) 掲示板は高齢者が主な対象になってしまうと思うが、広く周知する手段としては1番いいものなのか。 (団体) 高齢者はもちろん、子育て世代も掲示板や回覧板の情報を見ている。インターネットの情報は正しいのか判断できない部分もあり、町内会の掲示板に載っている事業だと安心できるという声も聞いている。 (委員) 新しい人材、職員の確保についてはどんな状況か。 (団体) 欠員がないよう、採用活動は積極的に行っている。 (委員) 教育分野と福祉や介護の分野との連携について、どう考えているか。 (団体) 社会福祉士、看護師の実習生を積極的に受け入れている。法人としては学生の頃から福祉とのつながりを持って行くことが大切と考えており、積極的に福祉教育に取り組んでいる。 (委員) ひとり暮らしの身寄りのない高齢者に対して、どんな対応を考えているか。 (団体) 地域包括支援センターでそういった方の情報を掴むためには、地域の方と顔見知りになっておく必要がある。民生委員・児童委員だけでなく、何かあった時に相談に行ける場所であることを積極的に周知している。また、ひとり暮らしの高齢者を対象に勉強会を実施し、地域の方に対しても地域の見守り体制の構築について、勉強会を実施している。 オ 横浜市本牧原地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) 災害発生時の個人情報等のデータ管理について、どう対応するのか。 (団体) 法人本部でバックアップデータを管理している。 (委員) チューリップホルダーの具体的な仕組みが知りたい。 (団体) キーホルダーにナンバーをつけて管理し、緊急時にキーホルダーを見て地域ケアプラザに通報が入ることで、速やかに対応することができる。 (委員) 外国籍の高齢者も多くいるということで、文化の違いなどもあるなかで苦労していることはあるか。 (団体) 英語を話せる職員や手話を話せる職員がおり、今のところ困ってい
--	--

ることではない。チラシ等は、国際交流ラウンジの協力により多言語翻訳をして発信をしている。

カ 横浜市蓑沢地域ケアプラザ

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) ホームページの更新について、積極的にできていないようだが、今後どのように情報発信することを考えているか

(団体) ホームページを定期的に更新し、また LINE を活用して情報を発信する。また、近日中にホームページをリニューアルする予定で随時情報提供ができるようになる。

(委員) ごみゼロ関係は自治会で取り組んでいると思うが、どのように関わりを持っているか。

(団体) 小学校の総合学習の授業でごみ拾いを行っており、地域ケアプラザが小学校と地域をつなげることで活動が発展した。

(委員) 民生委員・児童委員、ケアマネジャーとのケア会議では何が課題に上がっているか。

(団体) 交通の便が良くないことから、買い物難民や移動販売がよく話題に上がる。率先して取り組んでいきたい。

(委員) 正面玄関を閉めたままにしているのはなぜか。入ってよいものか分からず戸惑っている方を見かけることがある。ベビーカーで来る方も困っている。

(団体) コロナ禍以降、デイサービス利用者の感染対策として行っている。子どもの飛び出しを防ぐ安全対策の面もある。開けてほしいという声も聞いているので改善を検討している。

(委員) 閉めたままにするのか開けるのかだけが論点ではない。看板やサインなど含めて、地域ケアプラザに来る方が入りやすい工夫をきちんとしてほしい。

(団体) 承知した。

3 指定候補者及び次点候補者の選定、講評

応募者から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

(1) 横浜市新山下地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜社会福祉協会	1,486／1,920 点	1,418／1,044 点
次点候補者	なし		

(審査講評) 民生委員・児童委員の活動を速やかにバックアップして信頼関係を築いてるのは、この法人の強みだと思う。ケアマネジャーとの交流会も他の施設に比べて多い。障害者地域活動ホームとの連携では障害者との良好な関係を築けている様子が見られた。

(2) 横浜市不老町地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜社会福祉協会	1,509／1,950 点	1,443／1,062 点
次点候補者	なし		

(審査講評) 地域ケアプラザの中でも人員体制について工夫されており、区役所や警察等とも連携して広い地域をカバーできていることは高く評価できる。

(3) 横浜市本牧和田地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜社会福祉協会	1,499／1,950 点	1,433／1,062 点
次点候補者	なし		

(審査講評) 指定管理者が前期から変更となり、コロナ禍でスタートが難しい中で、多角的に企業や商店街と連携できており、成果を出せている。職員が変わり、利用者や地域との関係性を構築するのは大変だったと思う。マンションが建って子どもも増えているので、高齢者との交流、多世代との交流ができることを期待したい。

(4) 横浜市麦田地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	1,239／1,625 点	1,143／885 点
次点候補者	なし		

(審査講評) 業務は安定して行えている。積極的に地域と関わり、地域を巻き込んだ事業を期待したい。

(5) 横浜市本牧原地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市福祉サービス協 会	1,604／1,950 点	1,495／1,062 点
次点候補者	なし		

(審査講評)

具体的な提案が書かれていてよい。相談後のレスポンスが早く、受け身でなく先手先手で動いてくれる印象。

民生委員・児童委員に依存しておらず、他のシステムで補う力がある。

地域の方が口コミで紹介し、お互いに誘い合って事業に参加している様子も見られる。

(6) 横浜市簗沢地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市社会事業協会	1,536／1,950 点	1,435／1,062 点
次点候補者	なし		

(審査講評)

入口のドアが閉まっていることについて、初めて地域ケアプラザに行く人にとってはハードルが高い。来る人が拒絶感を感じないよう工夫が必要。利用者を温かく迎える雰囲気が伝わることを期待したい。

ホームページの更新を定期的に行うことを期待したい。

地域の担い手不足という課題に対し、今ある資源をどう活用し、どのように解決していくか、積極的な姿勢が伝わってくるといい。

	応募団体の得点は、いずれも最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人横浜社会福祉協会他を指定候補者として選定することを決定する。
資 料 ・ 特 記 事 項	<u>1 資料</u> (1) 第2回中区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 次第 (2) 各応募団体 応募関係書類 (3) 各応募団体 採点表 (4) 財務状況評価資料 <u>2 特記事項</u> 特になし